



写真1、2 葉拓画しおりつくりの様子（伴東小学校6年生）

くてもおもしろさを感じることができる」という結果は、昨年の中学生のケナフ紙すき体験での調査結果と一致する。体験活動を調整する立場としては、非常に勇気付けられる結果である。

大温室のガイドツアーでは、95%の児童が「話の内容を理解できた」と答え、60%が「おもしろかった」、35%が「ふつう」と答えている。「話の内容が理解できなかった」とする児童も、アンケート用紙には「思い出に残った植物」として食虫植物、オオオニバスなどの植物をあげている。理解できなかったと答えつつも、きちんと観察をしている事がうかがわれる。

最後の感想には、「もっと葉拓画しおりつくりの台紙が大きいほうが良かった」（4人）「大温室で知らない植物を見ることができて楽しかった」（10人）という積極

的な意見がみられた。

まとめ

自然体験活動事業がはじまった昨年度に比べ、指導者側も当園側も体制が整ってきた。本事業の趣旨にあわせると、今後小・中学校の自然体験事業としての大幅な利用増加等は見込めない。しかし、土・日曜日のPTC活動や子供会、グループでの利用など利用者の広がりがみられる。今後は、充実度の高い体験ができるよう、園内外の活動団体との協力強化、ワークシート、解説板などの充実により、内容を高めてゆきたいと思う。

参考文献

富澤まり：平成13年度学校教育支援実績、広島市植物公園栽培記録、第23号（2002）

Agave開花記録

藤井葉子

ミダレユキ (*Agave filifera* Salm-Dyck) が開花したので報告する。

本種はメキシコ原産。ロゼット径40～50cm。葉は細長く、扁平で剣状、オリーブ色で光沢があり、葉縁に細長い白糸状の繊維をつける。花は緑色を帯びているが後に栗色になり、穂状花序につく。

開花株はサボテン温室東側入口に向かって右手の屋外に植えられたもので、2002年6月下旬から7月下旬にかけて開花した。地際より花茎の先端までの高さは290cm。花茎基部の周囲は17cmであった。

参考文献

岸 密晴 1988. 園芸植物大辞典1.p24. 小学館.

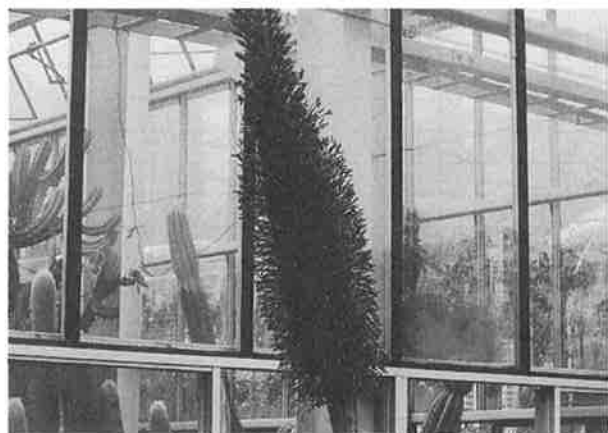


写真. ミダレユキ (2002年7月6日撮影)